

令和8年度 後期 111 地理総合

- 1 使用教科書 「高校生の地理総合」(帝国書院) 「詳解現代地図」(山川出版社)
- 2 使用学習書 「新地理総合」(NHK 出版)
- 3 使用教室 (405教室)
- 4 提出期限・面接指導等

※高校講座…NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	面接指導実施日		
1	10月14日(水)	現代世界の結びつき	3	P. 22~29	9/13	10/4	10/5
2	11月18日(水)	資源と産業	11	P. 62~63 P. 179	10/19	11/12	
3	12月16日(水)	世界の課題・防災	12 18	P. 164~183 P. 188~199	11/29	11/30	12/14

※地理総合は放送視聴による面接時数の認定はない。

5 面接指導出席時の注意事項

- ①開始時間に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ②面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ①教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ②期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-(111)-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。(1)と(2)は定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は地理総合の場合、「レポート全体の評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接指導=3:4:3」として採点します。最終的に(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

<科目担任からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ②空欄が3つ以上あった場合や記述内容が不十分であった場合にはレポートは受付されず、不備として返却されます。
★各レポートの中に「観点3」「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、A~Cで評価します。(空欄でも受け付けます)
⇒問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。
- ③必要面接時数は1時間ですが、理解を深めるため、レポート1枚あたり1時間を基本に、面接指導に参加しましょう。

令和8年度 後期 112地理探究

- 1 使用教科書 「地理探究（東京書籍）」「詳解現代地図」（山川出版社）
- 2 使用学習書 「新詳地理探究」（NHK 出版）
- 3 使用教室 （102教室）
- 4 提出期限・面接指導等

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書	学習書		
1	9月30日（水）	交通・通信・貿易・観光	15、16、17	P.142～155	P.84～92	9/17	9/24
2	10月14日（水）	人口問題	19、20	P.158～167	P.93～98	10/4	10/5
3	11月4日（水）	村落・都市	21、22	P.168～181	P.99～107	10/22	11/1
4	11月18日（水）	世界の諸地域 アジア	28～31	P.216～235	P.120～127 P.133～141	11/12	11/16
5	12月2日（水）	世界の諸地域 ヨーロッパ	34	P.256～265	P.160～165	11/26	11/29
6	12月16日（水）	世界の諸地域 アングロアメリカ	36	P.272～281	P.168～174	12/6	12/14

5 面接指導出席時の注意事項

- ①開始時間に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ②面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ①教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること（代筆）は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ②期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル（ファイル名は「登録番号-112-回数（後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える）」にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨わからないところは、来校して（または電話で）直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います（通信制の休日を除く）

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。(1)と(2)は定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は地理総合の場合、「レポート全体の評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導＝3：4：3」として採点します。最終的に(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

<科目担任からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ②空欄が3つ以上あった場合や記述内容が不十分であった場合にはレポートは受付されず、不備として返却されます。
★各レポートの中に「観点3」「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、A～Cで評価します。（空欄でも受け付けます。）
⇒問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。
- ③必要面接時間は2時間ですが、理解を深めるため、レポート1枚あたり1時間を基本に、面接指導に参加しましょう。

令和8年度 後期 113 歴史総合

- 1 使用教科書 『歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版』（山川出版社）
- 2 使用学習書 『歴史総合 改訂版』（NHK出版）
- 3 使用教室 405教室
- 4 提出期限・面接指導等 ※「視聴報告」は、ありません。

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書	学習書	面接指導実施日		
1	10/14(水)	第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 9 ~ 18	10~13	P94~113	P109~132	9/17	9/24	10/5
2	11/18(水)	第3部 グローバル化と私たち 1 ~ 8	14~17	P128~143	P138~167	11/1	11/16	
3	12/16(水)	第3部 グローバル化と私たち 9 ~ 15	18~20	P146~160	P172~193	11/26	11/30	12/6

5 面接指導出席時の注意事項

- ①開始時間に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ②面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ①教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること（代筆）は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ②期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル（ファイル名は「登録番号-113-回数（後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える）」にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨わからないところは、来校して（または電話で）直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います（通信制の休日を除く）

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。(1)と(2)は定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は歴史総合の場合、「レポート全体の評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導＝3：4：3」として採点します。最終的に(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

<科目担任からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ②空欄が3つ以上あった場合や記述内容が不十分であった場合にはレポートは受付されず、不備として返却されます。
★各レポートの中に「観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題」があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、A~Cで評価します。（空欄でも受け付けます。）
⇒問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。
- ③必要面接時数は1時間ですが、理解を深めるため、レポート1枚あたり1時間を基本に、面接指導に参加しましょう。

令和8年度後期 114 日本史探究

- 1 使用教科書 「日本史探究」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「日本史探究」(NHK出版)
- 3 使用教室 102教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書	学習書	面接指導実施日	
1	9月30日(水)	開国と開港～ 制度改革と殖産興業政策	25～26	P118～206	P114～123	9/13	9/17
2	10月14日(水)	立憲政治の成立～ 日露戦争と帝国日本	29～31	P218～237	P134～148	10/4	10/5
3	11月4日(水)	都市化・重工業化と生活の変化～ 国際社会のなかの日本	32～33	P240～253	P152～160	10/19	10/22
4	11月18日(水)	昭和恐慌と立憲政治の動揺～ 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	34～36	P254～268	P161～172	11/12	11/16
5	12月2日(水)	占領と日本国憲法の成立～ 国際社会への復帰と対米協調	37～38	P270～285	P173～182	11/29	11/30
6	12月16日(水)	1970年代の国際社会と日本 ～21世紀の日本	39	P292～306	P186～198	12/6	12/14

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイルにして提出してください。(ファイル名は「登録番号-114-回数(前期は1～6、後期は11～16となります。)」)
レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ② やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ③ 必要面接時数は2時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は日本史探究の場合、「レポートの全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度 後期 115 公共

- 1 使用教科書 「公共」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「公共」(NHK出版)
- 3 使用教室 405教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

※「公共」では放送視聴報告の提出はできません。

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日		
1	10月14日(水)	第2部第3章 私たちと経済～中央銀行の役割と金融環境の変化	9～10	P118～137	P128～165	9/17	10/4	
2	11月18日(水)	第2部第4章 働くということ～現代の雇用・労働問題	12～13	P155～163	P184～196	10/19	11/8	11/16
3	12月16日(水)	第2部第5章 国際社会の成り立ち	14～15	P166～183	P197～222	11/29	11/30	12/6

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイルにしてTeamsで提出してください。(ファイル名は「登録番号-115-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える、全て半角です。)」)レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担任からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 「公共」では、放送視聴報告の提出を認めていません。
- ⑤ 必要面接時数は1時間ですが、理解を深めるため各レポートに2時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は公共の場合、「レポートの全体的評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接指導=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度後期 116 政治・経済

1 使用教科書 「政治・経済」(数研出版)

2 使用学習書 「政治・経済」(NHK 出版)

3 使用教室 102 教室

4 提出期限・面接指導等

※高校講座…NHK高校講座関連番号(視聴報告はない)

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書 ページ	学習書 ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体	15～16	P84～95	P50～59	9/24	10/4		
2	11月18日(水)	市場経済のしくみ 金融のしくみと働き	17～19	P96～114	P60～77	10/19	11/8		
3	12月16日(水)	戦後日本経済のあゆみ 中小企業と農業・食料	20～21	P122～136	P78～91	11/26	11/29	11/30	12/14

5 面接指導(授業)出席時の注意事項

- ①開始時間に遅れて入室した場合は、出席は認められません。
- ②面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ①教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。
※他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ②期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートの表・裏の全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-116-1回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦提出期限の1週間後16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨分からないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30から16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点でレポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。(1)と(2)は定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は政治・経済の場合、「レポート全体の評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接指導=3:4:3」として採点します。最終的に(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

<科目担任からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ②携帯電話は電源を切り、飲食物とともにきちんとカバンに入れ、机上やポケットの中に入れておかない。
- ③面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。
面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④各レポートの中に「観点3」「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で表します。
⇒問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。
- ⑤必要面接時間は1時間。政治・経済は視聴報告はありません。

NHKテレビ 高校講座 地理総合
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 水曜日・隔週放送 午前10:00～10:20

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送時刻は地域放送中継放送局などでは変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	章	テーマ	タイトル	学習のポイント
4/15	A 地図や 地形や 気候・環境 のしくみ を学ぶ 現代世界	① 地図や 地形や 気候・環境 のしくみ を学ぶ 現代世界	1 地球で暮らしてどう生活？ ～地球上の生活～	●地球としての地球の特徴 ●地球上の暮らし ●地球儀と世界地図
29			2 GISって何？ ～GISと地図～	●GISとは何か ●紙と地図の違い ●WebGISの活用
5/13			3 何がグローバル化しているの？ ～グローバル化～	●小さくなる地球 ●人と人との結びつき ●進むグローバル化
27			4 大地は動いている？ ～大地形と生活～	●造山帯と安定地塊の大地形と人々の暮らし ●地震と暮らし ●火山と暮らし
6/10	B 国際理解と国際協力	② 生活文化の多様性と国際理解	5 暮らしは地形と結びついている？ ～川地形と生活～	●河川がつくる地形 ●地形図の利用 ●河川がつくる地形の生活への影響
24			6 なぜ気候の違いが生まれるの？ ～気候の成因と生活～	●大気と大気循環の生活への影響 ●気温と降水の生活への影響 ●大気大循環と生活への影響
7/ 8			7 気候が変われば暮らしも変わる？ ～各気候の生活～	●気候と気候区分 ●暑いところの生活 ●寒いところの生活
22			8 世界のさまざまな暮らしとは？ ～言語・宗教と生活～	●生活文化の多様性 ●世界の宗教と生活 ●言語・宗教をめぐる問題と共生

夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金)				高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。
9/ 2	B 国際理解と国際協力	① 生活文化の多様性と国際理解	9 歴史は暮らしにどう影響している？ ～歴史と生活～	●歴史的背景が生活に与える影響 ●市民の歴史と生活への影響 ●植民地支配の歴史と生活への影響
16			10 ものづくりが暮らしを支えている？ ～生産する産業と生活～	●食生活を支える農業 ●現代的な暮らしを支える工業 ●世界の工業化と生活への影響
30			11 新しい産業で暮らしはどう変わる？ ～現代の産業と生活～	●地域統合が産業や生活に与える影響 ●情報通信産業が世界を繋ぐ
10/14			12 持続可能な社会って何？ ～地球的課題と地球環境問題～	●さまざまな地球環境問題 ●地球的課題と持続可能な社会 ●地球温暖化と廃棄物への取り組み
28	C 国際理解と国際協力	② 生活文化の多様性と国際理解	13 エネルギーをどう使えば持続可能？ ～エネルギー問題～	●エネルギーの生産と消費 ●エネルギー問題のとらえ方 ●エネルギー問題解決に向けての取り組み
11/11			14 人口問題を解決するには？ ～人口問題～	●人口増加と少子高齢化 ●先進国の人口問題と解決に向けての取り組み ●発展途上国の人口問題と解決に向けての取り組み
25			15 世界に飢餓と食糧があるのはなぜ？ ～食料問題～	●飢餓と食糧 ●先進国の食料問題と解決に向けての取り組み ●発展途上国の食料問題と解決に向けての取り組み
12/ 9			16 都市ではどのような問題が 起こっている？ ～都市問題～	●都市化と都市問題 ●先進国の都市問題と解決に向けての取り組み ●発展途上国の都市問題と解決に向けての取り組み
23	D 国際理解と国際協力	③ 生活文化の多様性と国際理解	17 日本の地形と気候とは？ ～日本の地形と自然災害～	●日本の地形の特徴 ●日本の気候 ●日本の自然災害

※「タイトル/学習のポイント」は、
制作上の都合で変更になる場合があります。

冬期講座			12月28日(月)～1月8日(金)		高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。
			※12月31日～1月3日は休止です。		
1/20	C 持続可能な 地域づくりな 私たちに	① 自然環境と防災 ② 社会環境	18	日本の気候と災害とは？ ～日本の気候と自然災害～	●日本の気候の特徴 ●日本の水害 ●日本の雪害
2/ 3			19	防災にどう向き合う？ ～自然災害と防災～	●自然災害へのハード面での取り組み ●自然災害へのソフト面での取り組み ●防災から減災へ
17			20	地域の課題をどう解決する？ ～持続可能な地域づくり～	●自分が暮らす地域の課題を発見する ●自分が暮らす地域の課題を探究する ●自分が暮らす地域の課題を発信する
春期講座			3月1日(月)～4月2日(金)		高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。

NHKテレビ 高校講座 地理探究
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 月曜日 午前10:40～11:00

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送時間は本番組組や特別番組などで変更になる場合があります。その際は本番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/13	1 地理的な探究をしよう！	●地理探究の学び方 ●持続可能な社会に向けて ●地球システムと人間
20	2 地球規模の大地形	●大地形 ●人間活動との関わり
27	3 多様な小地形	●河川の小地形 ●海岸の小地形 ●人間活動との関わり
5/ 4	4 気候の成り立ちと生態系	●大気大循環 ●海洋による影響 ●気候と生態系
11	5 世界の気候帯	●気候区分と気候帯 ●人間生活への影響 ●気候変動と異常気象
18	6 日本の自然環境と自然災害	●自然災害の形成にある災害 ●土地の形成と災害リスク ●災害への対応
25	7 地球環境問題	●地球環境問題とは ●緩和と適応 ●いろいろな対策
6/ 1	8 探究1 持続可能な社会づくりと自然環境	●環境と自然の関係 ●持続可能な社会 ●国際大規模からの復興
8	9 現代世界の農業	●自然条件による制約 ●農業の発展とグローバル化 ●現代の農業の課題
15	10 世界と日本の食料問題	●世界の食料問題 ●日本の食料問題 ●食料自給の現状や社会への影響
22	11 エネルギー資源	●これまでのエネルギー ●化石燃料と原子力 ●大規模な再生可能エネルギー
29	12 エネルギー問題	●これからのエネルギー ●再生可能エネルギー ●小規模な再生可能エネルギー
7/ 6	13 工業と工業地域	●工業の発展と立地 ●世界と日本の工業 ●工業の国際化
13	14 第3次産業	●第3次産業と経済発展 ●商業の現状と変化・課題 ●商業以外のさまざまな第3次産業
20	15 交通・通信と高度情報化社会	●交通の発展 ●情報通信の発展 ●高度情報化社会の現状と課題
27	16 観光産業と観光振興	●観光の拡大と観光 ●日本の観光と観光 ●これからの観光
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 再放送講座金休日から進んだ学習のための再放送などを科目の時間枠をはなれて放送します。		
8/31	17 貿易と経済圏	●世界の貿易 ●経済圏 ●貿易・経済圏の課題
9/ 7	18 探究2 持続可能な社会づくりと産業	●キーワードを導き出す ●キーワードに関連づける ●仮定テーマで共通の課題を導く
14	19 世界の人口と人口移動	●世界の人口分布 ●人口ピラミッド ●人口移動

※「タイトル/学習のポイント」は、
本日の放送番組・放送時間・放送内容に基づいて決定します。

21	20 世界と日本の人口問題	●日本の人口問題 ●世界の取りこみ ●人口問題への対応
28	21 村落と都市	●村落の成り立ち ●村落・都市の形態と機能 ●都市圏の拡大と都市の構造
10/ 5	22 世界の都市・居住問題	●発展途上の都市・居住問題 ●先進国と日本の都市・居住問題 ●都市・居住問題の解決に向けて
12	23 探究3 持続可能な社会づくりと人口・都市問題	●日本の人口問題の多様化 ●これからの日本の都市の人口 ●持続可能な都市をつくるには
19	24 世界の衣食住	●衣食住と自然環境 ●衣食住と社会環境 ●食と住と文化の発展
26	25 民族・宗教と民族問題	●世界の民族・言語 ●世界の宗教 ●民族問題と多文化共生
11/ 2	26 国家の領域と領土問題	●国家と領域 ●世界の領土問題 ●日本の領土問題
9	27 地域区分と地誌的な考察方法	●地域区分の意義 ●区分する際の指標 ●地誌的な考察方法
16	28 中国	●中国の政治体制と民族 ●中国の経済発展 ●中国の課題
23	29 韓国	●韓国の歴史と文化 ●産業の発展と生活の変化 ●韓国のことから
30	30 ASEAN 諸国	●ASEAN 諸国の歴史と文化・民族 ●ASEAN 諸国の産業 ●ASEAN 諸国のこれから
12/ 7	31 インド	●産業の発展と3つの革命 ●経済成長を支えた産業の発展 ●インドは社会の変化と経済格差の課題
14	32 西アジアと中央アジア	●宗教と民族 ●豊富な資源 ●未来に向けた国づくり
21	33 北アフリカとサハラ以南アフリカ	●歴史的背景と多様な文化 ●人々の生活の変化と一次産品への依存 ●北アフリカとサハラ以南アフリカの課題と未来の可能性
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 再放送講座金休日から進んだ学習のための再放送などを科目の時間枠をはなれて放送します。 ※12月31日～1月3日は休止です。		
1/ 11	34 EU 諸国	●EUの成り立ちと結びつき ●移り変わるEUの産業・工業 ●EU 諸国の課題
18	35 ロシア	●ロシアの自然環境と産業 ●林業及び産業にもたらした影響 ●ロシアの課題
25	36 アメリカ合衆国	●多民族国家としての発展 ●アメリカ合衆国が世界に与える影響 ●アメリカ合衆国の課題
2/ 1	37 ラテンアメリカ	●ヨーロッパの影響が強い社会 ●産業の変化・工業化と経済発展 ●ラテンアメリカのことから
8	38 オーストラリアとニュージーランド	●移民の歴史と多文化社会への変化 ●自然の恵みを生かして発展した産業 ●オーストラリアとニュージーランドのことから
15	39 日本の国土像を探る	●日本の地形と気候 ●気候と産業 ●気候と文化
22	40 探究4 探究課題の発表	●探究課題の発表 ●課題解決の発表
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 再放送講座金休日から進んだ学習のための再放送などを科目の時間枠をはなれて放送します。 (放送予定)		

NHKテレビ 高校講座 歴史総合
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 水曜日・隔週放送 午前10:00～10:20

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送時間は録画放送や特別番組などで変更になる場合があります。
※その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/22	1 なぜ歴史総合なのか	① 私たち「の地帯と歴史 ② 日本史と世界史との融合 ③ 三つの歴史の流れと現代的課題
5/ 6	2 18世紀のアジア	① 18世紀の東アジア ② 南アジアのアフガン地域 ③ 18世紀のヨーロッパとアジア
20	3 産業革命と世界経済の変化	① 産業革命の始まり ② 世界市場の形成と日本の開国 ③ 世界経済の変化と日本の産業革命
3	4 近代社会と国民国家	① 市民革命 ～アメリカ独立とフランス革命～ ② フランクリンとジョージ・ワシントン ③ 自由主義とナショナリズム
17	5 近代国家への道のり	① アジアの諸国家とその変容 ② 明治維新と東アジアの国際関係 ③ 立憲制の広まり
7/ 1	6 帝国主義の時代	① 帝国主義と植民地 ② 日清戦争と東アジア国際関係の変容 ③ 帝国主義諸国の融合と国際関係
15	7 20世紀はじめの世界	① 植民地支配と植民地の近代 ② 国民革命と帝国主義批判 ③ 帝国主義諸国とアジア諸国の新しい動向
29	8 第一次世界大戦と戦後の世界 ～大衆社会・戦争・国際協調体制～	① 大衆社会の時代 ② 第一次世界大戦の展開 ③ 国際協調体制の形成

夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金)

高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを
科目の時間をはなれて放送します。

9/ 9	9 ソ連の登場とアメリカの繁栄	① ソビエト連邦の成立と社会主義の広がり ② アメリカ合衆国の繁栄と大衆文化の広がり ③ アジアの経済と移民
23	10 国際協調体制の変容	① デモクラシーと帝国主義のジレンマ ② 自由と統制のジレンマ ③ 世界恐慌の影響
10/ 7	11 国際協調体制の瓦解	① アジアの自立化と大衆社会の分断 ② 国際協調体制の崩壊 ③ 世界恐慌と日中戦争
21	12 第二次世界大戦と戦後秩序の形成	① 戦争の始まりと戦争目的 ② 無条件降伏と戦後処理類型 ③ 戦後の国際秩序と国際連合
11/ 4	13 戦後世界の船出とアジアの再編	① 連合国の占領政策と日本 ② 再編されるアジアと冷戦 ③ 世界の転捊点としてのアジア
18	14 冷戦の変化と脱植民地化	① 冷戦体制の崩壊と平和共存 ② 核戦争の危機と核管理 ③ 第三勢力の台頭と地帯紛争
12/ 2	15 冷戦下の日本の政治と経済成長	① 冷戦期の日本の国内政治と外交 ② 敗戦後期と日本の経済成長 ③ 経済成長と社会の変容
16	16 ベトナム戦争と世界秩序の変容	① 地域連帯の拡大 ② ベトナム戦争 ③ 広める社会運動

冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金)

高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを
科目の時間をはなれて放送します。

1/13	17 石油危機とアジアの経済発展	① 国際連合安保理の活動と石油危機 ② 経済の自立化と日本貿易政策 ③ アジア地域経済の発展
27	18 冷戦の終結	① 冷戦の終結 ② 地帯紛争 ③ 民主化の進展
2/10	19 グローバル化とこれからの世界	① グローバル化と地域統合の進展 ② グローバル化の負の側面 ③ 脱脱に立つ日本と世界
24	20 現代的な諸課題の形成と展望	① 歴史から教訓を学ぶこと ② 歴史を研究する方法 ③ 事例を取り上げて考える

春期講座 3月1日(月)～4月2日(金)

高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを
科目の時間をはなれて放送します。

※「タイトル/学習のポイント」は、
制作の都合で変更になる場合があります。

Eテレ 水曜日 午前10:20～10:40

※ この番組は、2026年度の新番組です。
※ 放送時期は普通番組や特別番組などでお変更になる場合があります。
※ その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/15	1 日本史で探究しよう！	● 日本史探究とは何か ● 資料から学ぶよう ● 問いを表現しよう
22	2 日本列島の誕生から小国家の形成まで	● 日本列島の旧石器時代 ● 縄文文化 ● 弥生文化
29	3 ヤマト政権と古墳文化	● ヤマト政権 ● 古墳文化 ● 大倭文化の伝来
5/ 6	4 律令国家の形成	● 飛鳥の朝廷 ● 律令国家の形成 ● 飛鳥文化・白鳳文化
13	5 平城京と天平文化	● 平城京遷都 ● 奈良時代の政治と仏教 ● 天平文化
20	6 平安京遷都	● 平安京遷都 ● 平安初期の政治改革 ● 弘仁・承和文化
27	7 摂関政治と国風文化	● 摂関政治 ● 武士の誕生 ● 国風文化
6/ 3	8 中世への転換	● 院政 ● 武士の成長と平氏政権 ● 武士の成長と平氏政権
10	9 探究1	● 時代を超越する問いを考えよう ● 資料から時代の特色を考察しよう ● 仮説を立ててみよう
17	10 鎌倉幕府の成立	● 治承・寿永の乱 ● 鎌倉幕府の成立 ● 幕府と朝廷
24	11 執権による政治	● 北条氏の台頭 ● 承久の乱 ● 執権政治
7/ 1	12 鎌倉時代の社会と文化	● 鎌倉時代の社会と経済 ● モンゴル襲来 ● 鎌倉文化
8	13 建武の新政・室町幕府の成立	● 鎌倉幕府の滅亡と建武の新政 ● 南北朝の紛乱と室町幕府の成立 ● 室町幕府の政治
15	14 室町時代の国際関係と社会	● 隆慶と其ツツジ国際交流 ● 室町時代の農業・商業 ● 室町と一揆
22	15 戦国時代・室町文化	● 応仁の乱 ● 戦国大名の領国支配 ● 室町文化
29	16 近世への転換	● 其ツツジ交易と版の流通 ● 豊後とキリスト教の伝来 ● 織田信長の統一事業
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をふまけて放送します。		
9/ 2	17 豊臣秀吉による全国統一	● 戦地と刀狩 ● 豊臣秀吉の外交政策 ● 統一文化
9	18 探究2	● 時代を超越する問いを考えよう ● 資料から時代の特色を考察しよう ● 仮説を立ててみよう
16	19 江戸幕府の成立	● 江戸幕府の成立 ● 江戸幕府による幕制 ● 江戸時代の身分

※ 「タイトル/学習のポイント」は、
制作の都合で変更される場合があります。

23	20 江戸幕府の外交政策	● 江戸時代初期の外交 ● 幕政と鎖国体制 ● 「鎖国」下の外交
30	21 幕政の転換と社会の発展	● 徳川政治から文治政治へ ● 幕政の発展 ● 元禄文化
10/ 7	22 幕政の改革	● 享保の改革 ● 田沼重家の政治 ● 開港と官途一揆
14	23 幕藩体制の立て直し	● 幕政の改革 ● 海防の強化 ● 至道・天明期の文化と文政文化
21	24 幕藩体制の動揺	● 天保の乱 ● 天保の改革 ● 幕政の転換
28	25 開国と開港	● 列国の其ツツジ進出 ● ペリー来航 ● 条約の締結と貿易の開始
11/ 4	26 幕府の崩壊と明治維新	● 幕府の崩壊から倒幕運動へ ● 大政奉還と戊辰戦争 ● 新政府の成立
11	27 探究3	● 時代を超越する問いを考えよう ● 資料から時代の特色を考察しよう ● 仮説を立ててみよう
18	28 明治初期の諸政策	● 富国強兵と殖産興業 ● 文明開化 ● 明治初期の外交政策
25	29 立憲国家の成立	● 国会開設への動きと自由民権運動 ● 松方正徳とその影響 ● 大日本帝國憲法の制定
12/ 2	30 日清戦争	● 日清戦争と条約改正 ● 産業革命と資本主義 ● 明治期の教育と文化
9	31 日露戦争	● 日露戦争 ● 露清併合 ● 日露戦争後の社会と政治
16	32 産業の発展と文化	● 第一次世界大戦の開始 ● 新産業の成長・都市化の進展 ● 大正期の思想と文化
23	33 社会運動と第一次世界大戦	● 社会運動の高まり ● 政治運動の展開 ● 戦時下の生活
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をふまけて放送します。		
1/13	34 恐慌の時代	● フランソワ体制 ● 昭和恐慌 ● 立憲政治の動揺
20	35 満洲事変と日中戦争	● 満洲事変と国際連盟の脱退 ● 日中戦争 ● 戦時下の国民生活
27	36 太平洋戦争	● 第二次世界大戦と日本 ● フラタ太平洋戦争 ● 日本の敗戦
2/ 3	37 占領と国内改革	● 占領期下の諸改革 ● 日本国憲法の成立 ● 占領の影響
10	38 国際社会への復帰と高度経済成長	● 国際社会への復帰 ● 世界経済の変化と日本 ● 高度経済成長
17	39 激変する世界と日本	● 石油危機から受入成長へ ● 冷戦の終結 ● 21世紀の世界と日本
24	40 探究4	● 現代の日本の課題とは何か考えよう ● 資料について歴史的に考察しよう ● 探究学習のまのめをしてみよう
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をふまけて放送します。		

NHKテレビ 高校講座 公共
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 月曜日・隔週放送 午前10:00～10:20

※ この番組は、前年度の再放送です。
※ 放送時刻は有休連日や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	章	タイトル	学習のポイント
4/20	公共的な空間をつくる私たち	1 社会のなかの自己	●現代社会に生きる青年 ●個人として尊重される人間 ●社会的な存在としての人間
5/ 4	公共的な空間における人間としての在り方生き方	2 共に生きるための倫理	●功利主義と幸福の原理 ●義務論と公正の原理 ●規範倫理について考える
18	公共的な空間における基本的原理	3 私たちの民主的な社会	●民主主義とは ●立憲主義とは ●人権保障の意義と展開
6/ 1	民主政治と私たち	4 民主政治と政治参加①	●私たちの民主政治 ●地方自治のしくみと役割 ●国政、内閣のしくみと役割
15	民主政治と私たち	5 民主政治と政治参加②	●政治参加と選挙 ●政策と利益集団 ●メディアと世論
29		6 法や規範の意義と役割	●法と社会規範の役割 ●法の成立と適用 ●法は？社会規範か？
7/13	法の働きと私たち	7 市民生活と私法	●市民生活と法 ●多様な契約 ●消費者の権利と責任
27		8 国民の司法参加	●司法のしくみと役割 ●刑事司法と司法参加の意義 ●私たちと裁判員制度
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを科目の別開枠をはなれて放送します。			
9/ 7		9 現代の経済と市場	●私たちと経済 ●市場経済のしくみ ●国貨所得と経済成長
21	経済社会で生きる私たち	10 市場経済における金融の働き	●金融のしくみと働き ●中央銀行の役割と金融機関の変化 ●近頃キャッシュレス社会
10/ 5		11 財政の役割と持続可能な社会保障制度	●財政の働きと課題 ●社会保障の考え方 ●社会保障の課題とこれから
19		12働くことの意義と職業選択	●働くということ ●多様な職業選択 ●これからのキャリア形成の課題
11/ 2	私たちの職業生活	13 労働者の権利と雇用・労働問題	●労働者の権利 ●現代の雇用・労働問題 ●働きやすい労働環境に向けて
16		14 国際社会のルールとしくみ	●国際社会の取リ立ち ●国際社会の課題解決のためのルール
30	国際社会のなかで生きる私たち	15 国際社会と平和主義	●日本の平和主義と冷戦 ●冷戦後の世界と日本 ●国際社会の平和と安全の実現に向けて
12/14		16 国際平和への課題	●現代の紛争とその影響 ●平和な国際社会に向けて ●国際を越えて広がるNGO活動
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを科目の別開枠をはなれて放送します。 ※12月31日～1月3日は休校です。			

※ [タイトル/学習のポイント] は、制作元の放送で決定される場合があります。

1/11	国際社会のなかで生きる私たち	17 グローバル化する国際経済	●貿易のしくみ ●国際金融のしくみと動向 ●今日の国際経済の課題
25		18 探究活動① ～あなたは18歳になったら選挙に行くか？～	●探究テーマから探究課題を決める ●探究方法を決め、探究活動を行う ●活動をもとめて発表し、ふり返る
2/ 8	持続可能な社会づくりに参画するために	19 探究活動② ～あなたは消費者としていかに行動するか？～	●探究テーマから探究課題を決める ●探究方法を決め、探究活動を行う ●活動をもとめて発表し、ふり返る
22		20 探究活動③ ～あなたはSDGsのどの目標なら貢献できるか？～	●探究テーマから探究課題を決める ●探究方法を決め、探究活動を行う ●活動をもとめて発表し、ふり返る
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを科目の別開枠をはなれて放送します。 (放送予定)			

FM
日曜日 (土曜深夜) 午前3:20 ~ 3:40① この番組は、約半年間放送予定です。
② 放送時刻は、放送局や放送設備などで変更になる場合があります。
③ その場合は、放送局ホームページでお知らせします。

放送日	放送時間	放送内容	タイトル	学習のポイント
4/12	19	第1章 民主政治の成立	1 政治・経済のまなび方	① 「政治・経済」って何？ ② 世の中の変化にどう関わる？ ③ ラジオで学んでいくにあたって
26	26	第2章 基本的人権の保障	2 民主政治の成立 法と民主政治	① 民主政治はなぜ必要？ ② 法はなぜ必要？ ③ 憲法に定められているのは？
5/3	10	第3章 日本国憲法の制定	3 基本的人権の保障 現代の民主政治	① 人権が保障されない？ ② 人民のための政治？ ③ 議院内閣制と大統領制の違いは？
10	17	第4章 基本的人権の保障 (1)	4 日本国憲法の制定	① 「あたらしい憲法はなぜ？」 ② 日本国憲法の三大原則とは？ ③ 憲法改正の可否は？
24	31	第5章 基本的人権の保障 (2)	5 基本的人権の保障 (1)	① みんなが守られている？ ② 国家から守られている？ ③ 人間らしい生活が保たれている？
6/7	14	第6章 平和主義	6 基本的人権の保障 (2)	① プライバシーは守られている？ ② 公共の福祉と個人の権利は？ ③ 自己決定権は？
21	28	第7章 国会と立法	7 平和主義	① 平和主義の理念と自衛隊の関係は？ ② 日本の防衛と安全保障の関係は？ ③ 冷戦後の日本の安全保障は？
28	7/5	第8章 内閣と行政	8 国会と立法	① 内閣はなぜ必要？ ② 法律はなぜ必要？ ③ 憲法に定められているのは？
12	19	第9章 裁判所と司法	9 内閣と行政	① 裁判所はなぜ必要？ ② どのような役割を担っている？ ③ 「司法権の独立」ってどういうこと？
19	26	第10章 地方自治	10 裁判所と司法	① 社会の発展はなぜ必要？ ② 住民はなぜ必要？ ③ 地方自治はなぜ必要？
26	8/2	第11章 戦後政治と政党	11 地方自治	① 戦後にはどのような変化がある？ ② 戦後の政治体制は？ ③ 戦後の政治体制は？
8/2	12	第12章 選挙と政治意識	12 戦後政治と政党	① 選挙はなぜ必要？ ② 政治の発展はなぜ必要？ ③ 政治の発展はなぜ必要？
	19	第13章 選挙と政治意識	13 選挙と政治意識	① 選挙はなぜ必要？ ② 政治の発展はなぜ必要？ ③ 政治の発展はなぜ必要？
	26	第14章 選挙と政治意識	14 選挙と政治意識	① 選挙はなぜ必要？ ② 政治の発展はなぜ必要？ ③ 政治の発展はなぜ必要？
	8/2	第15章 選挙と政治意識	15 選挙と政治意識	① 選挙はなぜ必要？ ② 政治の発展はなぜ必要？ ③ 政治の発展はなぜ必要？

※ 「タイトル/学習のポイント」は、制作の都合で変更になる場合があります。

- 73 -

放送日	放送時間	放送内容	タイトル	学習のポイント
9/6	13	第1章 金融のしくみと機能	18 金融のしくみと機能	① 金融とは何？ ② 金融のしくみとは？ ③ 金融の機能とは？
20	27	第2章 財政のしくみと機能	19 財政のしくみと機能	① 財政とは何？ ② 財政のしくみとは？ ③ 財政の機能とは？
10/4	11	第3章 戦後日本経済の発展	20 戦後日本経済の発展	① 戦後、日本経済はどのように発展した？ ② 日本の産業構造の変化とは？ ③ パル経済とは？
18	25	第4章 日本経済の現状	21 日本経済の現状	① 「失われた10年」とは？ ② 日本経済の現状とは？ ③ 日本の財政の現状とは？
11/1	8	第5章 公害と環境保全	22 公害と環境保全	① 公害とは何？ ② 公害の発生はなぜ？ ③ 公害の対策とは？
15	22	第6章 農業と食料問題	23 農業と食料問題	① 私たちの食料はなぜ？ ② 農業の発展はなぜ？ ③ 農業の課題とは？
22	29	第7章 中小企業の現状と課題	24 中小企業の現状と課題	① 中小企業とは？ ② 中小企業の現状とは？ ③ 中小企業の課題とは？
29	12/6	第8章 情報化の進展と社会の変化	25 情報化の進展と社会の変化	① 情報化とは？ ② 情報化の進展とは？ ③ 情報化の課題とは？
12/6	13	第9章 消費者問題	26 消費者問題	① 消費者とは？ ② 消費者の権利とは？ ③ 消費者の課題とは？
20	27	第10章 雇用と労働問題	27 雇用と労働問題	① 雇用とは？ ② 雇用の現状とは？ ③ 雇用の課題とは？
27	1/17	第11章 社会保障と福祉	28 社会保障と福祉	① 社会保障とは？ ② 社会保障の現状とは？ ③ 社会保障の課題とは？
	22	第12章 防災と安全・安心な社会の実現	29 防災と安全・安心な社会の実現	① 防災とは？ ② 安全とは？ ③ 安心な社会とは？
	29	第13章 国際社会の特質	30 国際社会の特質	① 国際社会とは？ ② 国際社会の特質とは？ ③ 国際社会の課題とは？
	12/6	第14章 国際社会と国際法	31 国際社会と国際法	① 国際法とは？ ② 国際法の役割とは？ ③ 国際法の課題とは？
	13	第15章 国際連合の役割と課題	32 国際連合の役割と課題	① 国際連合とは？ ② 国際連合の役割とは？ ③ 国際連合の課題とは？
	20	第16章 戦後国際関係の展開と日本	33 戦後国際関係の展開と日本	① 戦後国際関係とは？ ② 戦後国際関係の展開とは？ ③ 戦後国際関係の課題とは？
	27	第17章 冷戦後の国際関係と日本	34 冷戦後の国際関係と日本	① 冷戦とは？ ② 冷戦後の国際関係とは？ ③ 冷戦後の国際関係の課題とは？
	1/17	第18章 地域主権の動き	35 地域主権の動き	① 地域主権とは？ ② 地域主権の動きとは？ ③ 地域主権の課題とは？
	22	第19章 単独の動向と課題	36 単独の動向と課題	① 単独とは？ ② 単独の動向とは？ ③ 単独の課題とは？
	29	第20章 紛争・難民・テロリズム	37 紛争・難民・テロリズム	① 紛争とは？ ② 難民とは？ ③ テロリズムとは？
	1/17	第21章 国際社会における日本の役割	38 国際社会における日本の役割	① 国際社会とは？ ② 国際社会における日本の役割とは？ ③ 国際社会における日本の課題とは？

冬期講座 12月29日(火) ~ 1月10日(日)

高校講座全科目から選んで学習するための両送などを
科目の別冊で発行して送ります。

放送日	放送時間	放送内容	タイトル	学習のポイント
1/17	13	第1章 貿易と国際収支	35 貿易と国際収支	① 貿易とは？ ② 貿易のしくみとは？ ③ 貿易の機能とは？

- 74 -

2026 NHK高校講座 (政治・経済)

放送日	放送時間	放送内容	タイトル	学習のポイント
24	31	第1章 戦後国際経済体制の展開	36 戦後国際経済体制の展開	① 戦後国際経済体制とは？ ② 戦後国際経済体制の展開とは？ ③ 戦後国際経済体制の課題とは？
31	2/7	第2章 発展途上の経済	37 発展途上の経済	① 発展途上の経済とは？ ② 発展途上の経済の展開とは？ ③ 発展途上の経済の課題とは？
2/7	14	第3章 グローバル化する世界経済	38 グローバル化する世界経済	① グローバル化する世界経済とは？ ② グローバル化する世界経済の展開とは？ ③ グローバル化する世界経済の課題とは？
14	21	第4章 地球環境問題	39 地球環境問題	① 地球環境問題とは？ ② 地球環境問題の展開とは？ ③ 地球環境問題の課題とは？
21	28	第5章 資源・エネルギー問題	40 資源・エネルギー問題	① 資源・エネルギー問題とは？ ② 資源・エネルギー問題の展開とは？ ③ 資源・エネルギー問題の課題とは？
28	3/7	第6章 人口・貧困・感染症	41 人口・貧困・感染症	① 人口・貧困・感染症とは？ ② 人口・貧困・感染症の展開とは？ ③ 人口・貧困・感染症の課題とは？
3/7	14	第7章 グローバル化にともなう社会変容	42 グローバル化にともなう社会変容	① グローバル化にともなう社会変容とは？ ② グローバル化にともなう社会変容の展開とは？ ③ グローバル化にともなう社会変容の課題とは？
	21	第8章 持続可能な社会の実現	43 持続可能な社会の実現	① 持続可能な社会の実現とは？ ② 持続可能な社会の実現の展開とは？ ③ 持続可能な社会の実現の課題とは？

春期講座 3月9日(火) ~ 4月4日(日)

高校講座全科目から選んで学習するための両送などを
科目の別冊で発行して送ります。